

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スペースシャワーネットワーク
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清水 英明
 (氏名) 長谷川 裕朗

TEL 03-3585-3242

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,127	△5.4	71	△51.4	88	△47.5	△96	—
23年3月期第3四半期	8,593	△9.7	147	—	169	590.4	33	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △97百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△907.31	—
23年3月期第3四半期	315.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	5,889		3,493		59.3
23年3月期	6,727		3,684		54.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,493百万円 23年3月期 3,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	875.00	875.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	875.00	875.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,197	△2.1	43	△78.1	64	△71.3	156	200.0	1,466.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	106,908 株	23年3月期	106,908 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	106,908 株	23年3月期3Q	106,908 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
4. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半こそ東日本大震災の影響で低迷したものの、その後は、サプライチェーンが予想より早期に復旧し、上半期は自動車産業を中心に景況感も大幅に回復いたしました。その後も震災の復興需要が景気回復を下支えしているものの、欧州債務危機に端を発した海外経済の減速や歴史的円高基調の長期化による輸出環境の悪化、並びに復興増税や将来的な消費税増税を控えた個人消費の冷え込み懸念など、景気の先行きは依然不透明な状態が続いております。

当社グループでは、「スペースシャワーTV」と「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」の音楽2チャンネルを運営しておりますが、今後も成長が期待される放送プラットフォームであるスカパー！e2上では、「スペースシャワーTV」のみの有料放送サービスを行うに留まっており、あらゆる角度から「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」のスカパー！e2参入の可能性を検討してまいりました。この結果、平成23年11月1日に同帯域において委託放送免許を有する㈱シーエス日本との間で、同チャンネルを番組提供することで基本合意することができ、平成24年4月1日からスカパー！e2上での放送を開始する予定です。今後は2チャンネルを有効に編成し、視聴層ニーズに幅広く応えることで、視聴料収入の向上を目指していきたくと考えております。

また、平成23年10月1日付けで連結子会社2社を当社に全事業譲渡により経営統合いたしました。3社の経営統合を進めることで、グループ内重複機能の効率化を図るとともに、デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した戦略事業領域での取組みを本格化していきたくと考えております。

当第3四半期連結累計期間における、売上高は8,127,926千円と前年同期比465,735千円減（同5.4%減）となりました。営業利益は、71,616千円と前年同期比75,815千円減（同51.4%減）、経常利益は88,739千円と前年同期比80,297千円減（同47.5%減）となりました。四半期純損益につきましては、連結子会社からの事業譲受（経営統合）に伴い、不採算事業の整理等を行ったことによる事業整理損、減損損失を計上したこと及び税効果会計にかかわる一時差異が減少したことなどにより、96,998千円の損失となりました。

①放送関連事業

当事業につきましては、「スカパー！e2」及びブロードバンド系プラットフォーム経由の加入者は順調に伸びているものの、ケーブルテレビ局経由の加入者の伸びは鈍化しており、「スカパー！」の加入者も引き続き減少傾向にあることから、「スペースシャワーTV」の番組視聴可能世帯数は864万5千世帯となりました。また、

「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」の番組視聴可能世帯数は231万9千世帯（ともに平成23年12月末現在）となりました。広告営業売上は、一般クライアントからのスポット受注は好調なもの、レコードメーカーからの出稿が引き続き減少したことにより前年同期並の結果となりました。新規事業関連では、平成22年11月にオープンしたライブハウス「WWW」は、震災の影響もあり、上半期は苦戦したものの、当第3四半期においては、稼働率が当初想定した水準まで回復いたしました。また、平成23年7月にKDDI㈱と共同でauのスマートフォン向けに音楽ライブ映像配信「SPACE SHOWER Live Channel」をスタートさせました。まだ実験段階ではありますが、今後スマートフォンやタブレット端末の普及が加速していくことを考え合わせると、こうしたマルチデバイス向けの映像配信を事業化していくことは当社グループの事業戦略上非常に重要ですので、業界関係者の理解を深めながら、着実に事業化を図っていきたくと考えております。

当事業の売上高に関しましては、スカパー！e2、ブロードバンド系プラットフォームの売上が伸びたことに加え、ライブハウスが稼働し始めたものの、スカパー！及びケーブル経由の売上やイベント事業の売上が減少したことにより、4,069,658千円と前年同期比13,993千円減（同0.3%減）となりました。一方、経常利益（セグメント利益）につきましては、売上減少により収益が減少したものの、人件費や家賃などの固定費を削減できたことやライブハウス「WWW」の赤字幅が、開業に係る一過性の費用を計上した前年同期と比較し減少したことなどにより、295,674千円と前年同期比3,325千円増（同1.1%増）となりました。

②映像制作事業

当事業につきましては、東日本大震災の影響によるCDの発売延期に伴い、当連結累計期間当初はミュージックビデオの制作先送りが一部発生いたしました。その後持ち直し、売上高は648,811千円と前年同期比38,046千円増（同6.2%増）となりました。また、前年同期と比較し利益率が向上したこと及び前連結会計年度末で不採算事業から撤退したことなどにより、経常利益（セグメント損益）につきましては、16,867千円と前年同期比34,056千円の増となりました。

③音楽ソフト事業

当事業につきましては、平成23年10月1日付けにて当社連結子会社バウンディ㈱及び㈱ブルース・インターアクションズからの事業譲受（経営統合）を行いました。重複機能の効率化を図るとともに、グループ機能を再配置し、デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した戦略事業領域での取組みを本格化すべく種々施策を検討、随時

実施しておりますが、その具体的効果が現れるには未だ至っておりません。

また、当事業のおかれた環境は引き続き厳しく、CD・DVDパッケージにおいて、前年同期に発売された「DAISHI DANCE」のような大型作品のリリースが無かったことなども影響し、売上が大きく減少しました。それ以外でも、音楽出版売上や書籍出版売上も前年同期比減収となりました。この結果、当事業の売上高は3,409,456千円と前年同期比489,788千円減（同12.6%減）となりました。また経常損益（セグメント損益）につきましては、上述の減収の影響に加え、書籍出版における商品在庫を圧縮したため、△225,251千円と前年同期比119,165千円損失が増加いたしました。

なお、当セグメントは、平成23年10月1日付で当社に経営統合した連結子会社バウンディ㈱及び㈱ブルース・インターアクションズに加え、連結子会社㈱Pヴァインから構成されており、これまでのセグメント構成と比較し大きな変化はございません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に流動資産その他が79,153千円増加し、一方で現金及び預金が484,475千円、受取手形及び売掛金が94,690千円、敷金及び保証金が55,541千円、固定資産繰延税金資産が55,170千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ838,168千円減少し、5,889,399千円となりました。

負債につきましては、主に退職給付引当金が23,284千円増加し、一方で買掛金が220,683千円、未払法人税等が132,018千円、役員退職慰労引当金が82,312千円、賞与引当金が74,866千円、預り金が63,989千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ647,225千円減少し、2,396,268千円となりました。また、純資産は利益剰余金が190,543千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ190,942千円減少し、3,493,131千円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、放送関連事業が予想を上回って推移しているものの、第4四半期にアルバムをリリース予定であった大型案件の発売が延期となったこと及びオフィス関連機器の入れ替え費用が発生する見込みであるため、営業利益・経常利益は前回発表のまま据え置いております。当期純利益につきましては、平成24年4月1日以降の法人税減税が決定したことに伴い、繰延税金資産の取り崩し及びグループ法人税制の適用による清算子会社の繰越欠損金に関する税率調整が必要となりますが、前述の組織再編に係る事業整理損が当初見込みを下回る可能性もあるため、現段階では前回発表のままとしております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,858,016	2,373,541
受取手形及び売掛金	1,431,604	1,336,913
商品及び製品	239,413	209,549
仕掛品	74,611	83,217
原材料及び貯蔵品	5,939	7,373
繰延税金資産	69,801	50,194
その他	265,895	345,049
貸倒引当金	△115,467	△127,222
流動資産合計	4,829,815	4,278,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	592,293	592,293
機械装置及び運搬具	23,246	23,371
工具、器具及び備品	332,197	346,491
土地	195,864	195,864
リース資産	455,071	455,071
減価償却累計額	△725,815	△826,158
有形固定資産合計	872,857	786,933
無形固定資産		
のれん	102,251	52,852
ソフトウェア	176,533	155,679
リース資産	48,020	42,982
その他	50,807	44,986
無形固定資産合計	377,613	296,500
投資その他の資産		
投資有価証券	5,779	5,101
敷金及び保証金	364,828	309,287
繰延税金資産	206,476	151,305
その他	89,835	82,694
貸倒引当金	△19,639	△21,041
投資その他の資産合計	647,280	527,348
固定資産合計	1,897,752	1,610,782
資産合計	6,727,567	5,889,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,042,120	821,436
未払金	178,760	156,672
未払法人税等	132,946	928
預り金	454,875	390,886
賞与引当金	115,544	40,677
役員賞与引当金	17,510	2,736
返品調整引当金	74,544	68,353
売上割戻引当金	1,698	905
リース債務	85,452	84,005
その他	27,767	33,198
流動負債合計	2,131,221	1,599,800
固定負債		
リース債務	345,959	289,973
退職給付引当金	394,844	418,128
役員退職慰労引当金	163,879	81,567
その他	7,587	6,797
固定負債合計	912,271	796,467
負債合計	3,043,493	2,396,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,049,154	858,611
株主資本合計	3,684,272	3,493,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△197	△597
その他の包括利益累計額合計	△197	△597
純資産合計	3,684,074	3,493,131
負債純資産合計	6,727,567	5,889,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,593,661	8,127,926
売上原価	6,391,284	6,074,598
売上総利益	2,202,377	2,053,327
返品調整引当金繰入額	5,246	—
返品調整引当金戻入額	—	6,191
差引売上総利益	2,197,130	2,059,519
販売費及び一般管理費	2,049,697	1,987,902
営業利益	147,432	71,616
営業外収益		
受取利息	2,015	591
受取配当金	109	49
受取賃貸料	3,870	3,855
諸預り金戻入益	11,256	7,797
雑収入	10,529	13,393
営業外収益合計	27,781	25,687
営業外費用		
支払利息	5,378	8,006
その他	798	559
営業外費用合計	6,177	8,565
経常利益	169,036	88,739
特別損失		
固定資産除却損	385	1,975
損害賠償金	5,300	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,564	—
のれん償却額	—	10,027
減損損失	—	4,390
事業整理損	—	11,356
災害見舞金等	—	2,151
特別損失合計	16,249	29,900
税金等調整前四半期純利益	152,787	58,838
法人税、住民税及び事業税	137,861	80,781
法人税等調整額	△18,805	75,055
法人税等合計	119,056	155,836
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	33,730	△96,998
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,730	△96,998

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	33,730	△96,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△399
その他の包括利益合計	△99	△399
四半期包括利益	33,631	△97,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,631	△97,398

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	放送関連	映像制作	音楽ソフト	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,083,652	610,764	3,899,244	8,593,661	—	8,593,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,884	21,819	7,401	42,104	△42,104	—
計	4,096,536	632,584	3,906,645	8,635,766	△42,104	8,593,661
セグメント利益 (△損失)	292,348	△17,188	△106,085	169,074	△37	169,036

(注) 1. セグメント利益の調整額△37千円には、セグメント間の受取配当金消去△1,000千円、セグメント間取引等消去962千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	放送関連	映像制作	音楽ソフト	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,069,658	648,811	3,409,456	8,127,926	—	8,127,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,401	25,607	19,236	51,245	△51,245	—
計	4,076,060	674,418	3,428,692	8,179,171	△51,245	8,127,926
セグメント利益 (△損失)	295,674	16,867	△225,251	87,290	1,448	88,739

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去1,448千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「音楽ソフト事業」セグメントにおいて、連結子会社バウンディ㈱及び㈱ブルース・インターアクションズの超過収益力が見込めなくなったことに伴い、のれん償却額を計上しております。なお、当該のれん償却額は、当第3四半期連結累計期間においては10,027千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。